



2021年1月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年6月11日

上場会社名 鎌倉新書

上場取引所 東

コード番号 6184 URL <https://www.kamakura-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 小林史生

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 須藤諭史

TEL 0362623521

四半期報告書提出予定日 2020年6月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年1月期第1四半期の連結業績(2020年2月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年1月期第1四半期	677	0.6	47		47		47	
2020年1月期第1四半期	673	38.2	127	59.5	128	59.9	92	78.3

(注) 包括利益 2021年1月期第1四半期 52百万円 (%) 2020年1月期第1四半期 90百万円 (80.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年1月期第1四半期	1.24	
2020年1月期第1四半期	2.48	2.26

(注) 2021年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年1月期第1四半期	3,737	3,428	91.5
2020年1月期	3,884	3,511	90.0

(参考) 自己資本 2021年1月期第1四半期 3,420百万円 2020年1月期 3,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年1月期		0.00		3.00	3.00
2021年1月期					
2021年1月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2021年1月期の連結業績予想(2020年2月1日～2021年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	4,000	22.6	510	36.3	510	35.8	330	48.3	8.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年1月期1Q	38,693,600 株	2020年1月期	38,404,400 株
期末自己株式数	2021年1月期1Q	1,027 株	2020年1月期	1,027 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年1月期1Q	38,477,800 株	2020年1月期1Q	37,450,130 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についてもその確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が停滞し、景気は急激な落ち込みを見せています。

当社が属するライフエンディング市場におきましては、潜在的需要は人口動態を背景に年々増加すると推測され、「終活」の浸透が進み、ライフエンディングに対する社会的関心は日増しに高まりを見せております。しかしながら、仏壇仏具やお墓等におきましては、ユーザーの節約志向に加え、ユーザーの生活スタイルや価値観の多様化による購入商品の小型化・低価格化の傾向が継続しております。また不要不急の外出の自粛により、購入の先延ばしの影響も受けております。葬祭事業においても、核家族化や葬儀規模の縮小により、単価は減少傾向が続いております。

このような事業環境の中、当社は相続事業を始めとした新規サービスの開拓、既存サービスと新サービスの情報一元化のためのシステム開発等、数多くの施策を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は677,874千円（前年同期比0.6%増）、営業損失47,098千円（前年同四半期は営業利益127,584千円）、経常損失47,397千円（前年同四半期は経常利益128,669千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は47,755千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益92,866千円）となりました。

なお、当社はライフエンディング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載をしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は2,974,907千円（前連結会計年度末比151,341千円減）となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少96,569千円及び売掛金の減少82,552千円であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産は762,173千円（前連結会計年度末比4,112千円増）となりました。主な要因は、ソフトウェアの増加5,263千円、ソフトウェア仮勘定の増加8,929千円、敷金及び保証金の減少4,247千円及び繰延税金資産の減少4,908千円であります。

(流動負債)

当1四半期連結会計期間末の流動負債は269,025千円（前連結会計年度末比73,587千円減）となりました。主な要因は、未払金の減少29,703千円、未払法人税等の減少64,449千円及び預り金の増加12,314千円であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債は39,867千円（前連結会計年度末比9,287千円増）となりました。主な要因は長期借入金の増加8,051千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は3,428,187千円（前連結会計年度末比82,929千円減）となりました。主な要因は、資本金の増加43,020千円、資本剰余金の増加43,020千円及び利益剰余金の減少162,965千円であり、自己資本比率は91.5%であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予測につきましては、現時点では2020年3月12日に公開した連結業績予想から変更はありません。今後、新型コロナウイルス感染拡大により業績等に著しい変動が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,192,184	2,095,614
売掛金	852,099	769,547
製品	3,670	3,603
仕掛品	1,732	1,375
貯蔵品	594	587
前払費用	76,539	122,634
その他	11,888	3,462
貸倒引当金	△12,461	△21,918
流動資産合計	3,126,249	2,974,907
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	206,717	204,729
構築物（純額）	2,933	2,896
工具、器具及び備品（純額）	52,096	55,017
船舶（純額）	7,365	6,797
その他	87	76
有形固定資産合計	269,198	269,517
無形固定資産		
ソフトウェア	187,880	193,143
ソフトウェア仮勘定	28,581	37,511
のれん	29,867	28,623
その他	202	202
無形固定資産合計	246,532	259,480
投資その他の資産		
投資有価証券	363	363
繰延税金資産	14,311	9,403
敷金及び保証金	226,095	221,848
その他	1,560	1,560
投資その他の資産合計	242,330	233,175
固定資産合計	758,060	762,173
資産合計	3,884,310	3,737,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	497	530
1年内返済予定の長期借入金	3,349	4,440
未払金	211,861	182,158
未払法人税等	66,557	2,108
未払消費税等	26,377	24,619
前受金	19,254	20,626
預り金	13,624	25,938
その他	1,090	8,604
流動負債合計	342,612	269,025
固定負債		
長期借入金	13,195	21,246
退職給付に係る負債	15,583	17,281
長期前受金	1,802	1,340
固定負債合計	30,580	39,867
負債合計	373,193	308,893
純資産の部		
株主資本		
資本金	977,002	1,020,023
資本剰余金	937,002	980,023
利益剰余金	1,583,199	1,420,234
自己株式	△198	△198
株主資本合計	3,497,006	3,420,081
新株予約権	8,878	8,105
非支配株主持分	5,232	-
純資産合計	3,511,116	3,428,187
負債純資産合計	3,884,310	3,737,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年2月1日 至2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年4月30日)
売上高	673,702	677,874
売上原価	222,221	311,997
売上総利益	451,480	365,877
販売費及び一般管理費	323,896	412,976
営業利益又は営業損失(△)	127,584	△47,098
営業外収益		
受取利息	31	23
為替差益	607	-
その他	549	343
営業外収益合計	1,188	366
営業外費用		
支払利息	97	87
為替差損	-	461
その他	6	116
営業外費用合計	103	664
経常利益又は経常損失(△)	128,669	△47,397
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	128,669	△47,397
法人税、住民税及び事業税	43,768	682
法人税等調整額	△5,422	4,908
法人税等合計	38,345	5,590
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90,323	△52,987
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,543	△5,232
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	92,866	△47,755

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	90,323	△52,987
四半期包括利益	90,323	△52,987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92,866	△47,755
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,543	△5,232

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、ライフエンディングサービス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大による影響)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、不要不急の外出やイベントの自粛要請等により、お墓や仏壇の購入・お別れ会や海洋散骨の延期の影響を受けております。

この状況は6月においても一定程度継続するものの、経済活動再開に伴い徐々に回復していくものと想定しており、当第1四半期連結累計期間における固定資産の減損および繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積もりについては、この仮定を加味した予測数値により実施しております。